

2026年7月9日

株式会社あいちフィナンシャルグループ

「FTSE JPX Blossom Japan Index」構成銘柄への初選定について

株式会社あいちフィナンシャルグループ（代表取締役社長 伊藤 行記）は、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が ESG パッシブファンドのベンチマークとして採用している「FTSE JPX Blossom Japan Index」の構成銘柄に初めて選定されましたのでお知らせいたします。

当社グループは、これまで、気候変動・生物多様性・人権尊重など、さまざまなサステナビリティ課題について、取締役会の監督のもと、グループサステナビリティ委員会にて推進・進捗管理を行い、経営戦略と連動した取組みを進めてまいりました。今回の選定は、こうした取組みが評価された結果と受け止めております。

また、当社グループは、同じく GPIF がベンチマークとして採用している「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄にも引き続き選定されております。

当社グループはこれからもパーパスである「金融サービスを通じて、地域社会の繁栄に貢献します」のもと、サステナビリティ経営のさらなる高度化に取り組んでまいります。

■今回選定された指数

FTSE JPX Blossom Japan Index
グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell 社が作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもので、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。FTSE Russell 社の評価はコーポレートガバナンス、健康と安全性、腐敗防止、気候変動といった分野について行われており、本指数の構成銘柄である企業は、環境、社会、ガバナンスに関するさまざまな基準を満たしています。
FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index
FTSE Russell 社により構築された本指数は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また、低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコア※により改善の取組みが評価される企業のみを組み入れています。

※TPI（Transition Pathway Initiative）経営品質スコア：企業の温室効果ガス排出量および脱炭素への移行に関するリスクと機会の管理の質を評価する指標

以上